



別府中学校で茶摘み体験

■ 4月21日、別府中学校の全校生徒約60人が農研機構果樹茶業研究部門で茶摘み体験を行い、約40kgの茶葉を収穫しました。後日、茶葉はせん茶に加工され、学校と生徒それぞれに届けられました。



枕崎神社本遷座祭を開催

■ 4月23日、再建工事が完了した枕崎神社で本遷座祭が執り行われました。多くの地域住民が見守る中、御神体が東本町公民館内の仮殿から枕崎神社の本殿へ移されました。



白沢地域にガーデンがオープン

■ 4月28日、地域おこし協力隊の清水隊員が、活動の一環として東白沢地域の耕作放棄地をガーデン「Whispering Meadow」としてオープンしました。入場無料で、夕方にはライトアップも行っていますので、ぜひ足をお運びください。



まくらぎ朝市30周年で大賑わい

■ 5月17日、町頭青果市場で毎月開催されている、まくらぎ朝市が30周年を迎えました。記念イベントとして行われた大抽選会では、当選発表に歓声が上がるなど、会場は笑顔に包まれていました。



ホタル舞うビオトープで琴の音色響く ～8年ぶりに夢蛸コンサートが開催

5月16日、田布川ビオトープで、夢蛸たぶがわ2016の主催による夢蛸コンサートが8年ぶりに開催されました。

会場には多くの地域住民などが訪れ、幻想的に舞うホタルを鑑賞しながら、琴の演奏を楽しみました。会場にはやさしい琴の音色が響き、訪れた人たちは、自然と音楽が織りなすひとときを過ごしていました。



小学生力士の取組に大声援 ～第34回黒潮すもう大会

黒潮すもう大会が5月9日、駒場公園相撲場で行われ、市内各小学校から3年生以上の代表児童41名が参加しました。

子どもたちは、相撲教室で学んだ礼儀作法で堂々と土俵に登場し、熱戦を展開。好取組の連続に、観客席からは大声援が巻き起こりました。団体戦は立神小学校が優勝。優勝した立神小学校には、本市出身で大相撲立行司36代木村庄之助の山崎敏廣さんが寄贈した軍配のレプリカと盾が贈られました。

団体戦の順位および個人戦の優勝者は次のとおりです(敬省略)。

【団体】優勝 立神小学校、準優勝 別府小学校
【個人】3年男子=中村幸龍(立神小)、3年女子=宮路千穂(立神小)、4年男子=加茂隆之介(立神小)、5年男子=藤田正毅(別府小)、5年女子=大工園礼(枕崎小)、6年男子=中村聡汰(別府小)、6年女子=揚村心春(立神小)



100歳の誕生日を迎えました ～茶園澄芳さん(泉町)

4月25日に茶園澄芳さんが、めでたく100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

枕崎市出身の茶園さんは、2人の子どもに恵まれ、若い頃はカツオ船などに乗っていました。趣味は魚釣りという茶園さんの長生きの秘訣は「刺身を食べること、温泉に行くことです」と話します。

これからも元気で長生きしてください。



オリジナル芋焼酎「そらより。」が完成 ～耕作放棄地を活用した地域連携プロジェクト

4月20日、Camping Office osoto Makurazakiでオリジナル芋焼酎「そらより。」のお披露目会が開催されました。「そらより。」は、市を含む関係4者が共同開発したもので、4月25日から販売が始まりました。令和6年6月に締結した包括連携協定に基づき、耕作放棄地を活用して栽培したサツマイモを使用しています。

商品名には、そら(機内や旅先、故郷)からの贈り物という思いが込められており、ラベルにはカツオや電照菊、お茶など、枕崎らしい風景や特産品が描かれています。6月からは、ソラシドエア機内でも数量限定で販売される予定です。

▲ 4月20日のお披露目会



記念講演やお茶席で陶芸と文化に親しむ ～薫風の陶芸展 POTTERY 2026を開催

4月26日から5月27日まで、枕崎市文化資料センター南浜館で、春の恒例企画「薫風の陶芸展 POTTERY 2026」が開催されました。本展では、鹿児島陶芸家協会会員が中心となった作家の個性豊かな陶芸作品が展示され、多くの来館者が鑑賞を楽しんでいました。



生徒会主催による交流戦を開催 ～枕崎高校と鹿児島水産高校が学校間交流

4月24日、市営野球場において、毎年恒例となった枕崎高校と鹿児島水産高校の野球部による交流戦が行われました。

選手たちが最後まで全力プレーを見せる気迫あふれる熱い交流戦に、両校のスタンドから力強い応援が響き、会場は熱気に包まれていました。

また、保護者や地域の方々も会場を訪れ、白熱した試合を楽しみました。